



北茨城市地域おこし協力隊主催

桃源郷芸術祭 2018

～海のアリズム、秘境の地の芸術家たち～

NEWS RELEASE

2018. 1. 12

桃源郷芸術祭2018 事務局

＼ 2018年3月に北茨城市にて開催！ ／

かつて岡倉天心が「東洋のバルビゾン」と称し、 日本美術を世界へ発信した五浦の海から、新しい芸術祭が始まる。

北茨城市では、岡倉天心が日本美術院を置いた景勝地「五浦」、三大童謡詩人の一人である野口雨情、江戸時代から続く伝統的な陶器「五浦天心焼」など、本市が有する芸術的な風土・資源を生かして、「芸術によるまちづくり」を推進しています。

その担い手として、2017年4月より創作活動しながら芸術によるまちづくりをプロデュースする地域おこし協力隊アーティスト1名、コーディネーター1名を委嘱しています。

1年の活動成果として、五浦の海を舞台に、地元の芸術家や若手の芸術家の日本画や陶芸などの作品がご覧いただける、地域に根付いた芸術祭を2018年3月14日(水)～18日(日)に開催いたします。



地域おこし協力隊 樫之汰鷺「PEP」

東日本大震災では、津波となって災害をもたらした一方、漁場となって地域を潤す海は、生命の営みに深く関わっています。そんな多面性を擁する海は、古来より多くの芸術家たちを魅了し、創作の源となってきました。

かつて岡倉天心が「東洋のバルビゾン」と称し、日本美術を世界へ発信した五浦の海から新しい芸術祭が始まります。

陶淵明が描いた理想郷「桃源郷—とうげんきょう」。

～～～

桃源郷とは、漁師が船で川を下り魚を追って迷い込んだ村のことで。

桃の花が咲き乱れる林の先に現れるこの村は、現代から取り残され、むかしながらの暮らしが営まれていました。

村の人は漁師を泊めて食事を出してもてなしました。

漁師がいまの世の中の話をして、むしろこの村のことは放っておいてください、戻ってもこの村のことは黙っていてくださいと言うのでした。

自分の村に戻った漁師は、桃源郷の話をしてしまいます。

そこに行きたいという人が現れるのですが、たどり着くことは出来ませんでした。

～～～

海と山に囲まれた自然豊かなこの場所は、どこか桃源郷のように思えます。

本展覧会では、地域おこし協力隊をはじめ、北茨城で活動する芸術家と、東京藝術大学の気鋭の新人芸術家らの陶芸、日本画、映像、立体作品などを集めました。また、地元住民を巻き込んだ作品制作や、五浦の海での滞在制作を試みました。

桃源郷の物語のように、かつての暮らしと現代の創作とが交錯した、幻想的な海に広がるアートの祭典です。



田中 荘式



小坂橋 弘「威厳」



三宅 世梨菜「バイソーン スリラー」



門馬 寛子

【桃源郷芸術祭2018 概要】

会 期 平成30年3月14日(水)～18日(日)

開館時間 9:30～17:00(※茨城県天心記念美術館 入館16:30まで 最終日15:00まで) ※会場によって異なる

会 場 茨城県天心記念五浦美術館 展示室B・C / 茨城大学五浦美術文化研究所(六角堂・天心邸)(※予定)

五浦観光ホテル 本館 / かつらぎ画廊 / ガラス工房シリカ / ARIGATEE / 大津港駅前案内所

内 容 美術作品(日本画、陶芸、映像、立体など約50点)の展示、販売、ワークショップ

主 催 北茨城市地域おこし協力隊

共 催 北茨城市

企画運営 桃源郷芸術祭実行メンバー

協 力 茨城県、茨城大学五浦美術文化研究所、五浦観光ホテル、かつらぎ画廊、五浦天心焼研究会、

北茨城市観光協会、北茨城市商工会、茨城大学岡倉天心・五浦発信プロジェクト、KITAIBA Art Project

入 館 料 無料(※茨城大学五浦美術文化研究所(六角堂・天心邸)は入場300円(中学生まで無料、団体割引有))

【北茨城市地域おこし協力隊】



アーティスト
いしわた
石渡のりお

夫婦でカラージュ作品
を作っています。



コーディネーター
つづみ 響子
都築響子

アートイベントの企画。
頭上建築「六角堂」で
PR活動をしています。

【お問い合わせ先】

桃源郷芸術祭2018 事務局

〒319-1725 茨城県北茨城市関本町富士ヶ丘756-1

TEL 0293-46-0362 (平日9:00～17:00)

MAIL tougenkyo.art.fes@gmail.com

代表：都築 響子 / 広報担当：助川 実穂

HP tougenkyo-art-fes.jp